

令和3年度広島県立総合技術研究所
利用者アンケート調査（令和2年度利用分）について

1 調査概要

(1) 目的

総合技術研究所（以下「総研」という。）をご利用いただいた方の満足度や経営への貢献額をお伺いし、総研の自己評価に役立てるとともに、ご要望やご意見をもとに、今後の支援サービスの内容充実や質的向上を図ります。

(2) 調査対象

令和2年度に総研において、設備利用（センターの保有機器・設備）、依頼試験、技術的課題解決支援事業（ギカジ）、共同研究、受託研究の各支援メニューを利用された方（事業者、個人等）

(3) 調査区分

○共通アンケート調査

ご利用全体を通じての満足度や今後のご要望、経済効果額に関するアンケート

○個別アンケート調査

センターでご利用のあった支援メニューごとに、利用のきっかけや理由、満足した点に関するアンケート

(4) 調査方法

調査用紙を郵送で対象者（691者）へ配付し、広島県ホームページからのWEB又はFAXによる回答により収集した。

調査期間：令和3年5月6日～7月6日

(5) 回答状況

共通アンケート調査：284者（回収率41.1%）

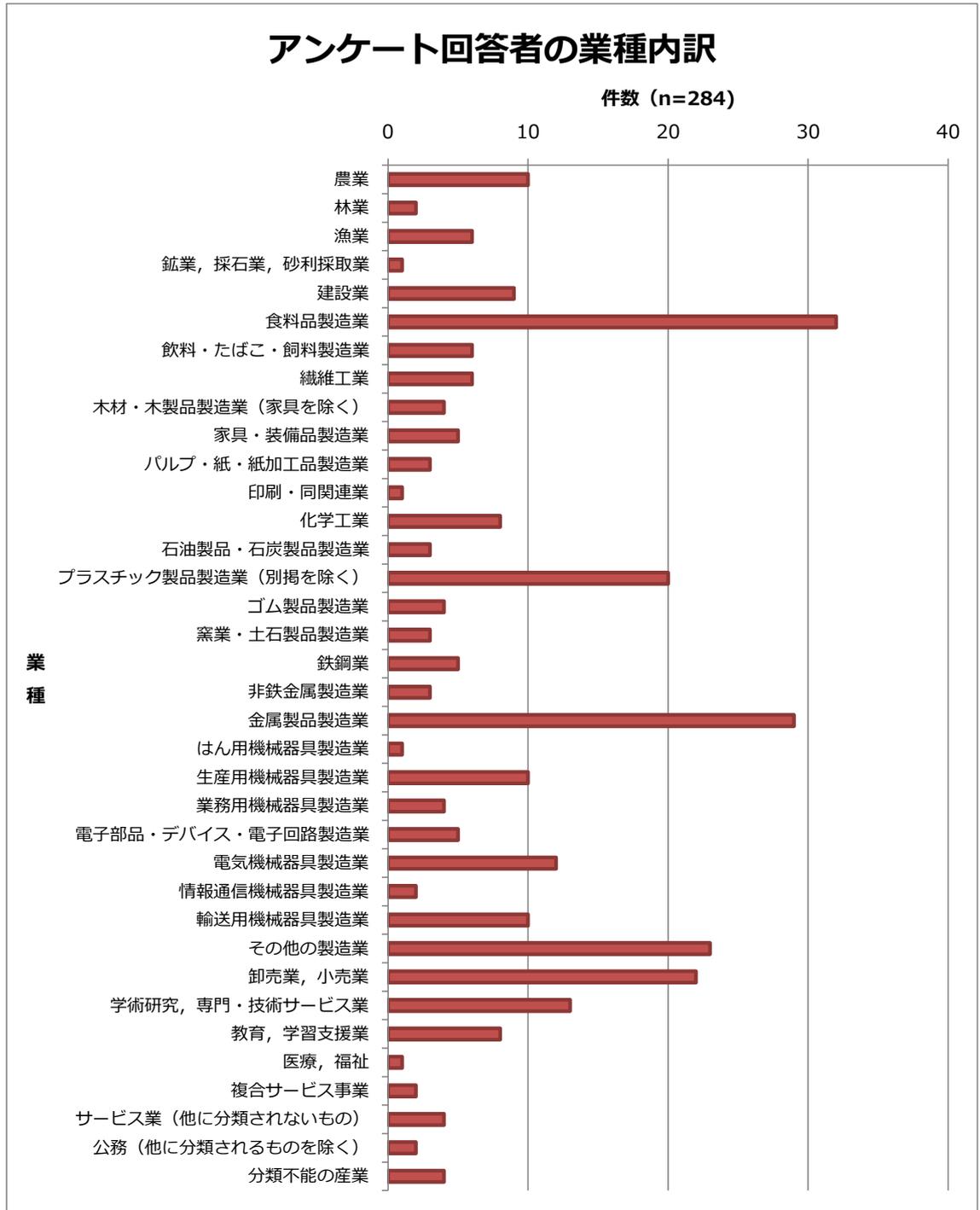
個別アンケート調査：293者（回収率42.4%）

2 調査結果概要

2-1 共通アンケート調査

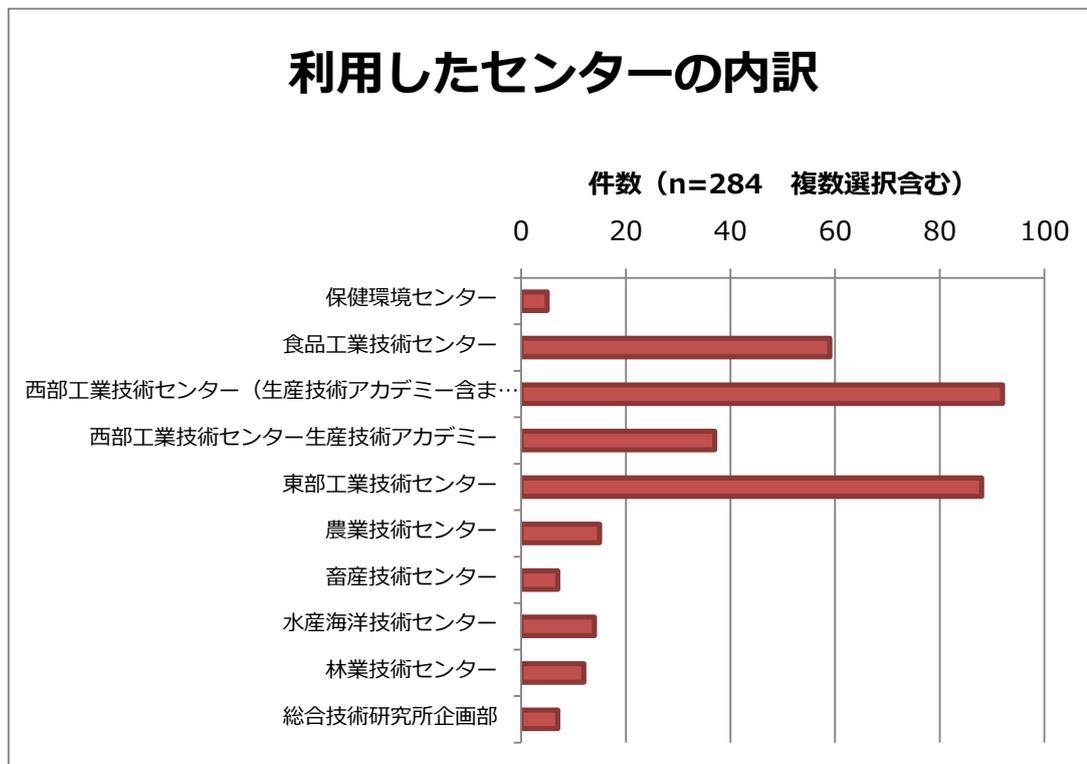
(1) 業種内訳

食料品製造業，金属製品製造業，卸売業，小売業，プラスチック製品製造業等の回答者が多い。



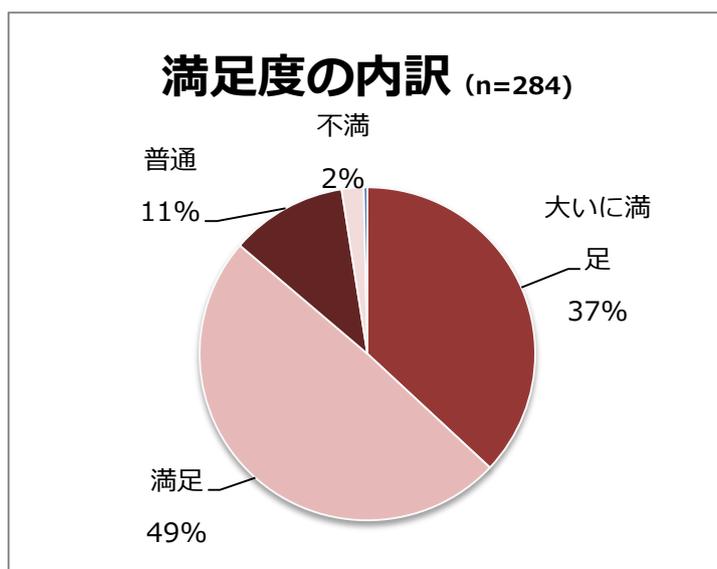
(2) 利用したセンター

全体回答数の 80.2%が工業系センター（食品工業技術センター，西部工業技術センター，東部工業技術センター）となっている。



(3) 満足度

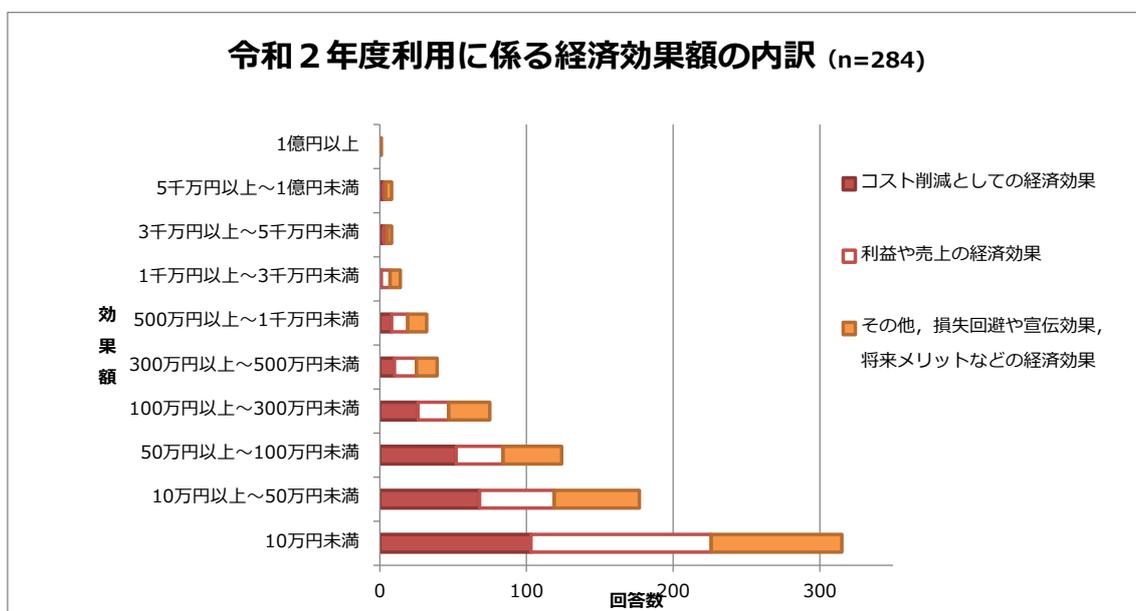
全体回答数の 86.3%が満足または大変満足となっている。



(4) 支援効果額

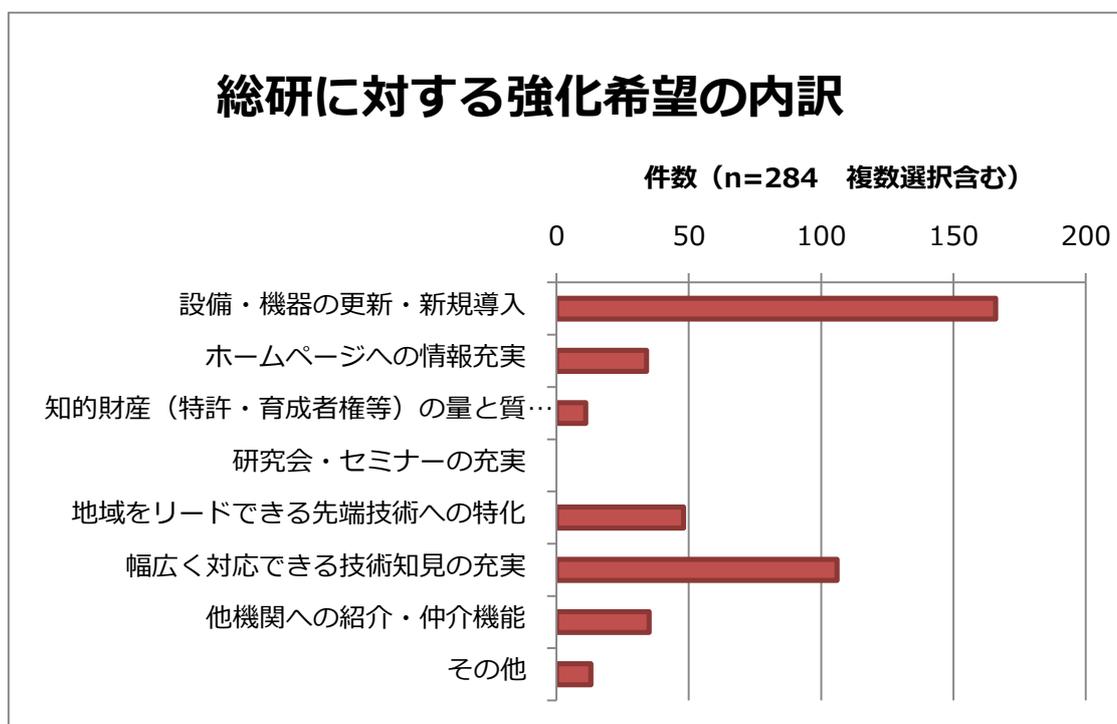
1 者当たりの支援効果額は、約 7,380 千円/者となっている。

経済効果の金額	コスト削減としての経済効果	利益や売上の経済効果	その他、損失回避や宣伝効果、将来メリットなどの経済効果	回答数	1 回答当たりの効果金額 (中間値) (千円)	経済効果換算額 (千円)
10万円未満	103	123	89	315	50	15,750
10万円以上～50万円未満	68	51	58	177	250	44,250
50万円以上～100万円未満	52	32	40	124	750	93,000
100万円以上～300万円未満	26	21	28	75	2,000	150,000
300万円以上～500万円未満	10	15	14	39	4,000	156,000
500万円以上～1千万円未満	8	11	13	32	7,500	240,000
1千万円以上～3千万円未満	1	6	7	14	20,000	280,000
3千万円以上～5千万円未満	3	2	3	8	40,000	320,000
5千万円以上～1億円未満	3	1	4	8	75,000	600,000
1億円以上	0	0	1	1	100,000	100,000
回答数 小計	274	262	257			
経済効果換算額 (千円)	578,150	502,400	918,450		経済効果換算額 (千円)	1,999,000
					1者当たりの経済効果額 (千円)	7,376



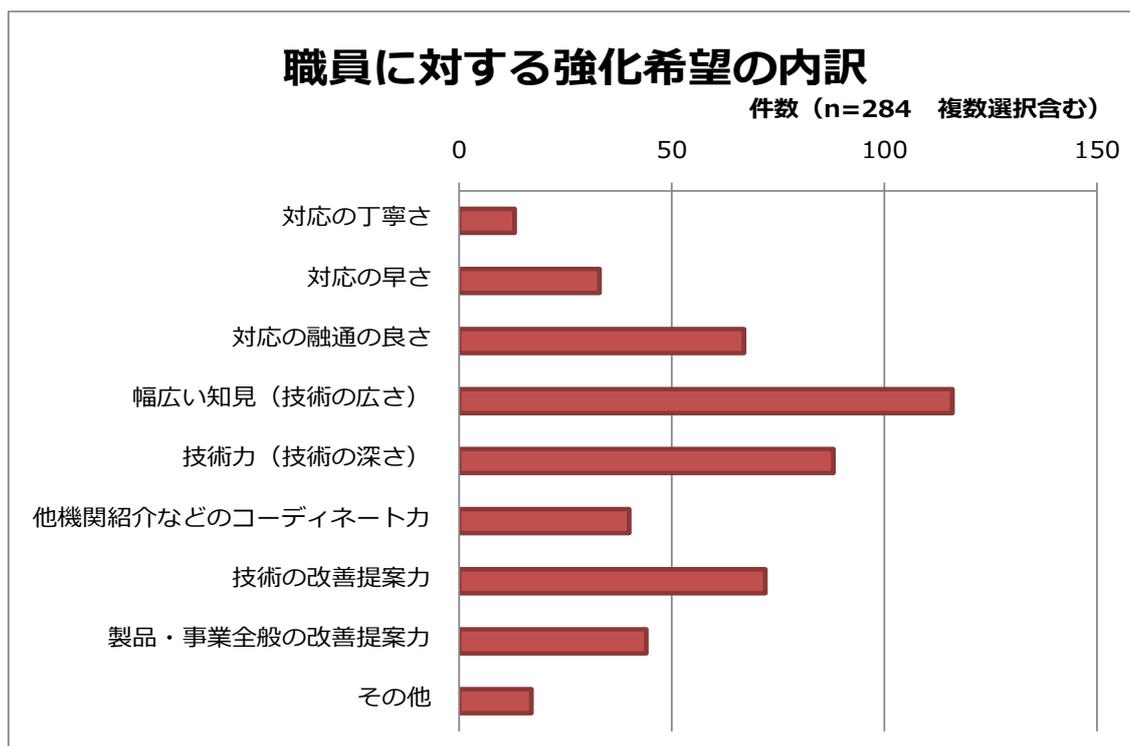
(5) 強化希望

総研に対して、強化してほしい部分では、「設備・機器の更新・導入」が最も多く、次いで「幅広く対応できる技術知見の充実」が多い。



(6) 職員への強化希望

総研の職員に対しては「幅広い知見（技術の広さ）」や「技術力（技術の深さ）」が求められている。



(7) その他意見

※不満等の理由や、その他強化を希望するもの、改善してほしい内容など。

①感謝等に関するもの（抜粋）

- 不具合品の検査で利用させて頂きましたが、担当者様の知識により不具合原因が特定できました。
- 急ぎの相談が多いが、非常に細かくご対応いただけている。
- 必要な信頼性試験設備が利用できました。
- 当社では出来ない、研究機器の貸し出しを頂き、同時に当社の製造した機器について、より深く研究するきっかけとなりました。
- 常日頃からご相談に対してのアドバイスを頂いたり、共同研究での取り組みを行ったりと具体的な成果が期待できます。
- 材料の特性等に関する知見を豊富に持っておられ、大変参考にさせて頂いています。

②改善などの要望（抜粋）

- 予約の手続きがもう少しシンプルになると良い。
- 特に不満はないが、設備利用時の予約を Web 上で行うことが出来れば、研究員様のお手間を省けたり、利用者への利便性が上がるのではないかと思う。
→利用機器の安全なご利用と、ご要望に合わせた最適な使用をご提案させていただくため、現在は電話または電子メールにて、担当職員が予約を受け付けております。よりスムーズにご予約いただけるよう、引き続き改善に取り組んでいきますので、ご理解ください。
- 送金については、カード対応など効率化して欲しい。
- 手数料の納付を振り込みが利用できるようにしてほしい。
→現在、新たな支払い方法について検討しております。今しばらくお待ちください。
- 試験機を製作すると数百万円かかるところを数万円で試験ができて良かった。但し、治具の製作が必要だったので、汎用で使用できる治具の種類を増やして欲しい。
→各センターでは、利用ニーズの高い機器や治具を計画的に順次整備しております。今後の整備計画の参考にいたしますので、随時ご希望を担当職員にお伝えください。
- 今回のアンケートをパソコンで入力するのに、もっと簡単な方法にして欲しい。また、基本的にホームページが判りづらい。
→わかりやすいホームページとなるよう、随時更新してまいります。

○(1) 測定・分析機器の原理と使用方法のセミナーを設けて頂くことを希望

(2) 簡略な操作説明書などの整備

→(1) 一部の機器については、研究会等を通して、測定・分析機器の原理や使用方法を学んでいただくことが可能です。詳細については担当職員にお尋ねください。

(2) 利用頻度の高い機器については、簡易な操作説明書を整備しております。ぜひご利用ください。

○設備の使用料を事前支払しますが、実際には早く終わり、余分の単位での支払いをする事もある。出来ましたら、事後支払いで使用相当の料金でお願いしたい。使用したい機器もあるが、使用出来ない場合もあるようです。

→基本的には事前に料金をお支払いいただいておりますが、使用してみないと使用料が算定できない場合（例：耐久性試験で予め利用時間の設定が困難な場合など）には、後納による処理も可能です。各センターにお問い合わせください。

○新たな潤滑性評価試験機を設置してほしい。

○振動試験機と衝撃試験機を同時にセットで出来る試験機があれば良いです。

→各センターでは、利用ニーズの高い機器を整理し、計画的に順次整備しております。整備計画の参考にいたしますので、随時ご希望を担当職員にお伝えください。また、規格等を求めない比較試験等については、他の機器を利用しての評価が可能な場合もございますので、ご相談ください。

○広島県には県立大学、技術研究所他 広島大学をはじめとした研究機関があり、多数の有能な方が在籍されています。これらの方々の知見を総合的に生かせば将来的に世界をリードできる産業が育っていくものと期待しています。

→ありがとうございます。県内の他の研究機関とは日々効果的な連携を行っているところであり、今後も引き続き取り組んでまいります。

○機器のチェックは定期的に行って頂きたい。今回、誤差が大きかったためです。

→大変申し訳ありません。利用頻度や要求精度の高いものを優先して、計画的に機器の校正を行ってまいります。

○近年、学校現場でも「探究型」と称して、生徒が研究を行うようになってきています。教育利用への費用低減などの措置を検討いただくと助かります。

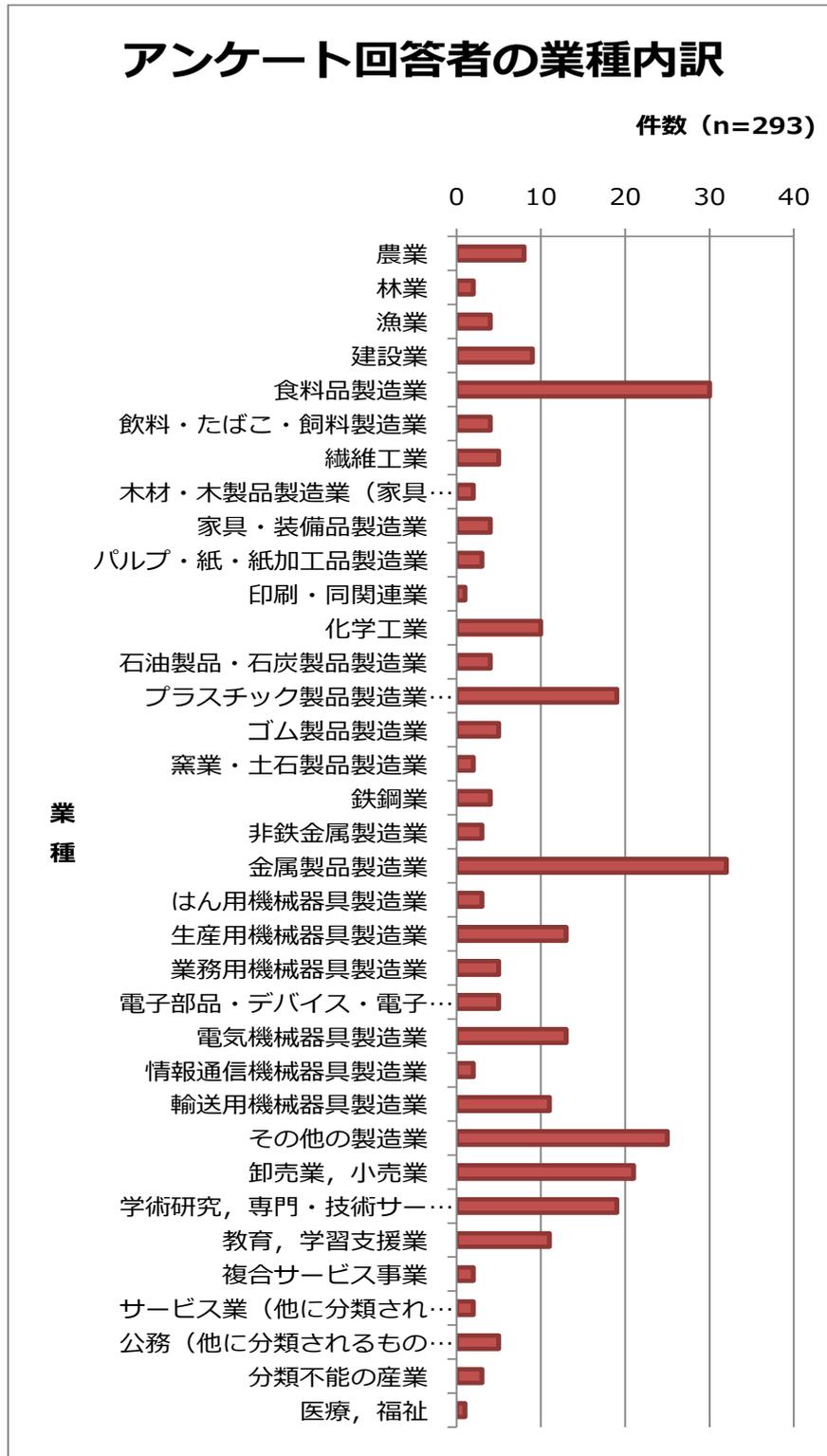
→申し訳ありませんが、学生割引等には対応しておりません。共同研究等、試験研究の協力関係にある場合は一部費用の低減は可能です。

2-2 個別アンケート調査

(1) 業種内訳

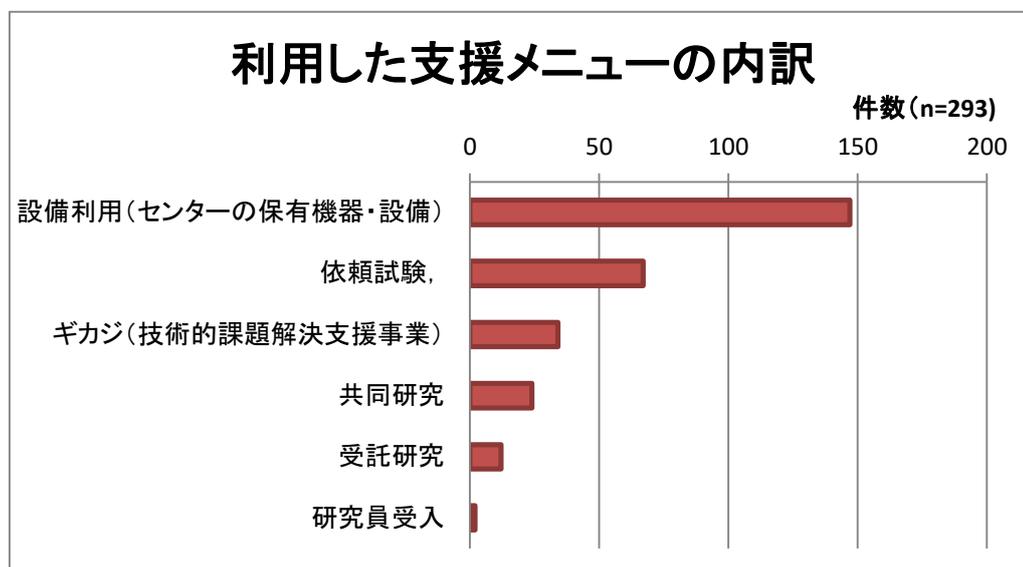
共通アンケートと同様に、食料品製造業、金属製品製造業、卸売業、小売業、プラスチック製品製造業等の回答が多い。

(1者で複数メニューの回答があるため、回答数は293件となっている)



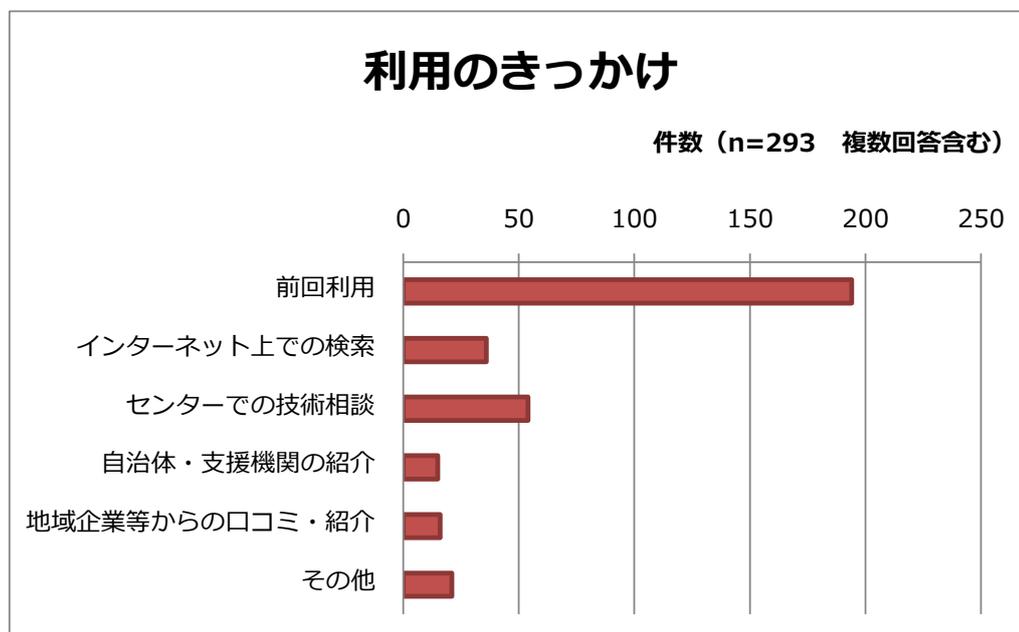
(2) 利用した支援メニュー

支援の中で最も実施件数が多い設備利用の回答が多い。



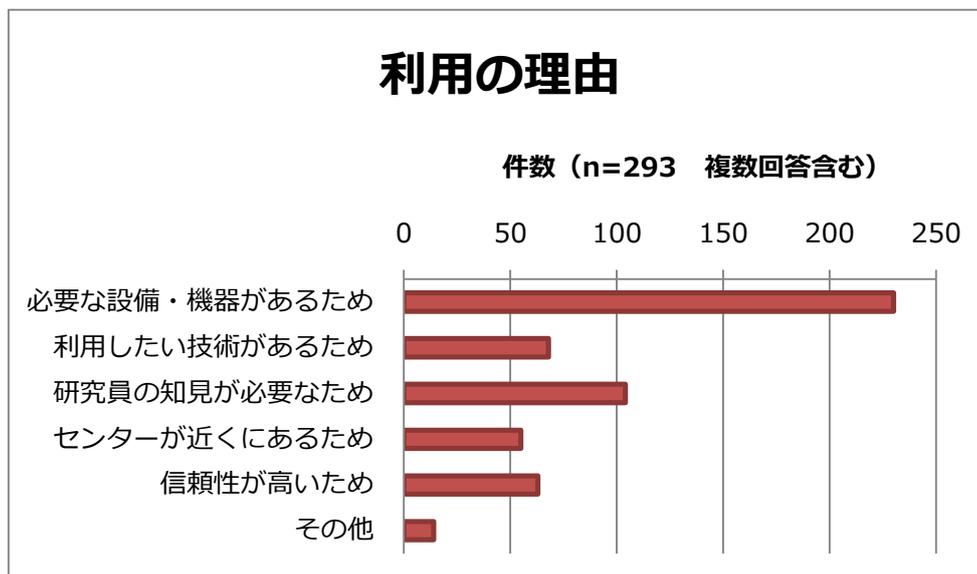
(3) 利用のきっかけ

前回利用したことによるリピートのほか、センターでの技術相談がきっかけとなっている。



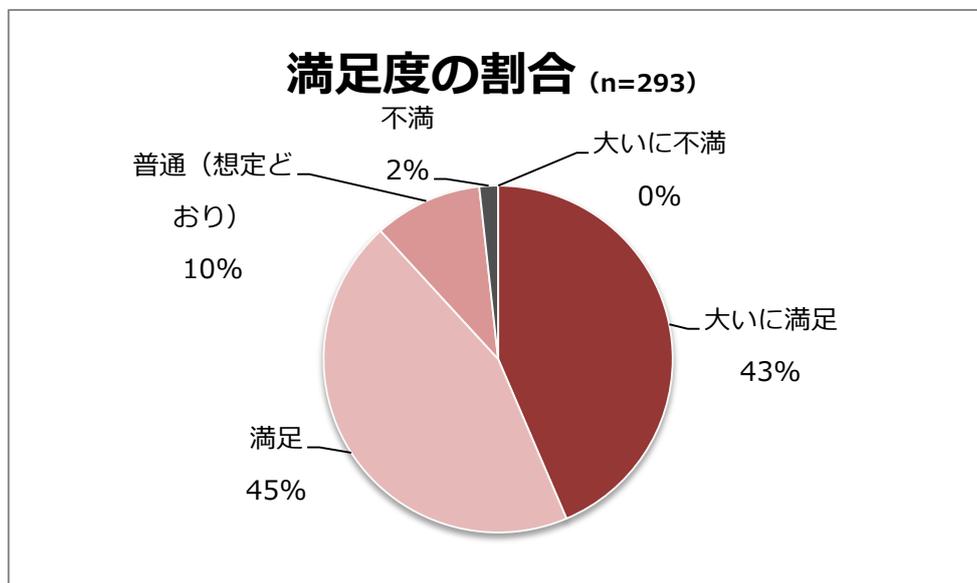
(4) 利用の理由

設備，研究員の知見が主な利用の理由となっている。



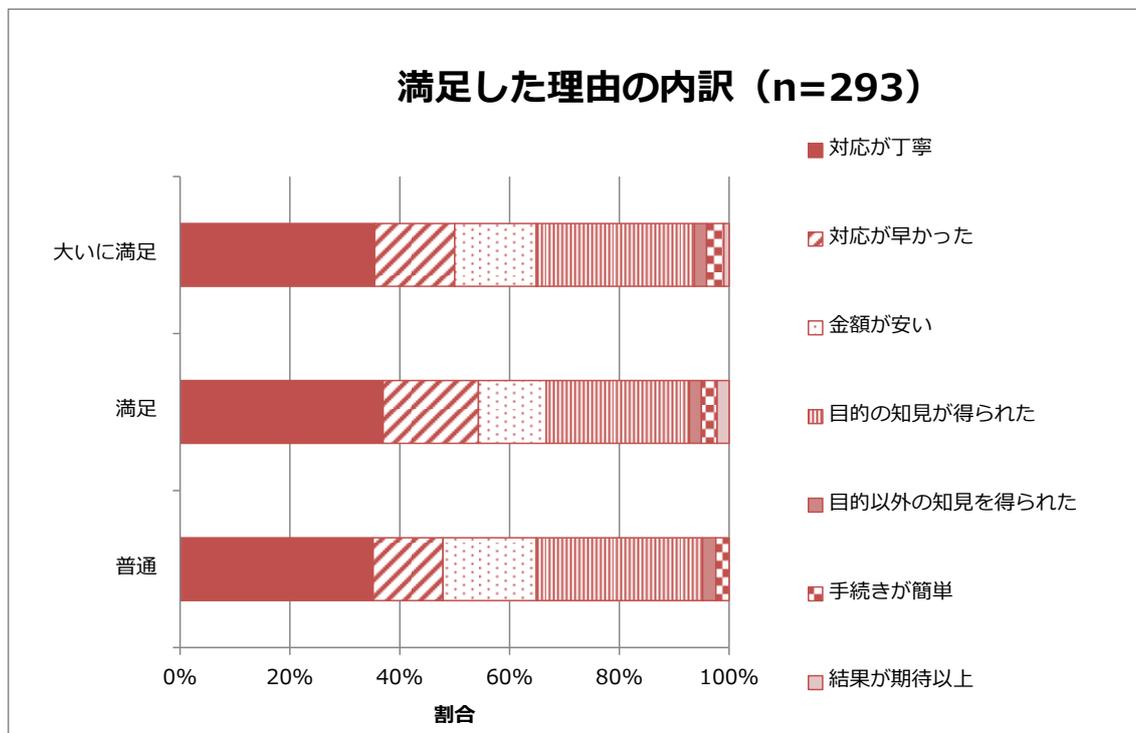
(5) 満足度

全体回答数の 88.2%が満足または大変満足となっている。



(6) 満足した理由

「対応が丁寧だった」、「目的の知見が得られた」という割合が多くなっている。



(7) その他意見

※導入希望設備や技術，自由意見

○メルトインデクサー，2軸押し機

○東部工業技術センターに振動計、加振機、キセノン耐候性試験機、無響室がほしい。

→ご意見頂きました機器に関しましては、導入計画策定時の参考とさせていただきます。導入の詳細につきましては、逐次HP等でお知らせいたします。

○微量のプラスチック材料で樹脂の混練や簡単な成形品の作製ができる超小型混練機、超小型射出成形機など。少量の原料しかできない研究段階で、新しい樹脂の開発を行う上で便利。

→混練機、射出成形機の小型のものについては、西部工業技術センターにお問い合わせください。

○同様な試験をしているものがあれば、公開してほしい。

→申し訳ございません。利用者様の秘密情報を保護する観点から、すべて公開することは困難です。一部、研究内容や支援内容については、センター公開や研究報告にて公開しておりますので、ご覧ください。

○貴センターを中心とする見学会（ウェブ方式など）があれば、様々な団体の行事として有益と思われる。

→毎年1回センター公開を行っております。新型コロナの感染状況を考慮し、昨年度Webによる情報発信等を実施しました。今年度もWebを合わせた情報発信を検討しますので、ぜひご参加ください。

このほか、各種イベントや、ご依頼に合わせて見学対応も行ってまいりますので、ご利用ください。

○弊社では塗料や樹脂部品の耐候性の判断知見が低いのでセミナー等があれば有難いと考えています。

→耐候性に限らず、高分子に関するセミナー等を高分子材料研究会で行っておりますので、よろしければ、ご参加ください。

○支払い方法が現金書留なので、カード決済などに改善して欲しい。

○装置利用料を事後支払いできると助かります。

→支払い方法等の改善については、現在検討を行っております。ご不便をおかけしますが、今しばらくお待ちください。（共通アンケート調査の（7）の項目もご参照ください。）

3 参考資料（アンケート様式）

R3年度広島県立総合技術研究所 ご利用アンケート調査（R2年度利用分）

とりまとめ担当課 様用



共通アンケート

県のHP上で、便利に回答することができます（右リンク先）

Q1 貴社名（貴名）を記入してください（必須）

例）〇〇株式会社〇〇事業所

Q2 業種を選択してください。（1つ選択）

※日本標準産業分類の区分を表記しています。

- 農業 林業 漁業
- 鉱業、採石業、砂利採取業、 建設業 食品製造業
- 飲料・たばこ・飼料製造業 繊維工業 木材・木製品製造業（家具を除く）
- 家具・装備品製造業 パルプ・紙・紙加工品製造業、 印刷・同関連業
- 化学工業 石油製品・石炭製品製造業 プラスチック製品製造業（別掲を除く）
- ゴム製品製造業 なめし革・同製品・毛皮製造業 窯業・土石製品製造業
- 鉄鋼業 非鉄金属製造業 金属製品製造業
- はん用機械器具製造業 生産用機械器具製造業 業務用機械器具製造業
- 電子部品・デバイス・電子回路製造業 電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業
- 輸送用機械器具製造業 その他の製造業 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業 運輸業、郵便業 卸売業、小売業
- 金融業、保険業 不動産業、物品賃貸業 学術研究、専門・技術サービス業
- 宿泊業、飲食サービス業 生活関連サービス業、娯楽業 教育、学習支援業
- 医療、福祉 複合サービス事業 サービス業（他に分類されないもの）
- 公務（他に分類されるものを除く） 分類不能の産業

Q3 昨年度ご利用のセンターを選択してください。（複数選択可）

- 保健環境センター 食品工業技術センター 西部工業技術センター（生産技術アカデミー含まず）
- 西部工業技術センター生産技術アカデミー 東部工業技術センター 農業技術センター
- 畜産技術センター 水産海洋技術センター 林業技術センター 総合技術研究所企画部

Q4 昨年度、総研を利用して、全体の満足度はいかがですか。（1つ選択）

- 大いに満足 満足 普通（想定どおり）
- 不満 大いに不満

Q5 Q4で不満、大いに不満を選択した理由は何ですか、（自由記入）

Q6 昨年度、総研を利用したことによる貴社（貴方）の経済効果についてお答えください。

コスト削減としての経済効果額をお教えてください。（1つ選択）

- 例1) 装置使用や依頼試験により、自社で試験を実施する場合に比べて設備投資費や人件費を〇〇万円削減することが出来た。
- 例2) 民間の専門分析機関や研究機関へ対応相談や試験依頼をした場合と比べ、〇〇万円の経費削減につながった。
- 例3) 技術的な知見を習得することができ、自社の人材育成に関する経費を〇〇円圧縮できた。

- 10万円未満 10万円以上～50万円未満 50万円以上～100万円未満
 100万円以上～300万円未満 300万円以上～500万円未満 500万円以上～1千万円未満
 1千万円以上～3千万円未満 3千万円以上～5千万円未満 5千万円以上～1億円未満
 1億円以上

Q7 Q6で1億円以上を選択した場合、およその金額を入力してください。（数値入力：単位 億円）

億円

Q8 利益や売上の増加について、経済効果額をお教えてください。（1つ選択）

- 例1) 品質の維持・向上のための課題解決により、売上高が〇〇万円向上した。
- 例2) 依頼試験や、委託研究により製品開発に貢献し、〇〇万円の売上高に貢献した。

- 10万円未満 10万円以上～50万円未満 50万円以上～100万円未満
 100万円以上～300万円未満 300万円以上～500万円未満 500万円以上～1千万円未満
 1千万円以上～3千万円未満 3千万円以上～5千万円未満 5千万円以上～1億円未満
 1億円以上

Q9 Q8で1億円以上を選択した場合、およその金額を入力してください。（数値入力：単位 億円）

億円

Q10 その他、損失回避や宣伝効果、将来メリットなどの経済効果額をお教えてください。（1つ選択）

- 例1) 不具合などの原因究明に対応でき、将来的な損失を〇〇万円回避できた。
- 例2) 製品の評価や品質管理の結果、試験結果を宣伝できたため、〇〇万円の貢献があった。
- 例3) 研究開発・製品化・事業実施の判断に役立てることができ、研究開発費として〇〇万円の価値がある。

- 10万円未満 10万円以上～50万円未満 50万円以上～100万円未満
 100万円以上～300万円未満 300万円以上～500万円未満 500万円以上～1千万円未満
 1千万円以上～3千万円未満 3千万円以上～5千万円未満 5千万円以上～1億円未満
 1億円以上

Q11 Q10で1億円以上を選択した場合、およその金額を入力してください。（数値入力：単位 億円）

億円

Q12 総研に対して、特に強化してほしい部分は何ですか。(2つ選択)

- 設備・機器の更新・新規導入 ホームページへの情報充実 知的財産(特許・育成者権等)の量と質の充実
研究会・セミナーの充実 地域をリードできる先端技術への特化 幅広く対応できる技術知見の充実
他機関への紹介・仲介機能 その他

Q13 総研の職員に対して、特に強化してほしい部分は何ですか。(2つ選択)

- 対応の丁寧さ 対応の早さ 対応の融通さ
幅広い知見(技術の広さ) 技術力(技術の深さ) 他機関紹介などのコーディネート力
技術の改善提案力 製品・事業全般の改善提案力 その他

Q14 総研へその他ご意見があればお教えてください。(自由記入)

※Q12, Q13 でその他を選択した場合や、対応してほしい点、改善してほしい点、よかった点など

Q15 回答者の所属、お名前を記入してください。

以上で共通アンケートは終了です。ありがとうございました。

以降は、設備利用や共同研究等のご利用に関する個別アンケートとなります。

お手数ですが、利用担当部署様へ引継ぎをお願いします。

個別アンケート



R3年度広島県立総合技術研究所 ご利用アンケート調査（R2年度利用分）

利用担当部署 様用



個別アンケート

県のHP上で、便利に回答することができます（右リンク先）

設備利用（センターの保有機器・設備）、依頼試験、ギカジ（技術的課題解決支援事業）、共同研究、受託研究の各支援メニューを昨年度ご利用いただいた場合は、ご利用のセンター・利用メニューごとに入力してください。（FAXの場合、お手数ですが、ご利用センター・利用メニューごとにコピーしてお使いください）

なお、メニューで複数回ご利用の場合は、実施規模や重要性が最も大きいものを代表してお答えください。

Q1 貴社名（貴名）を入力してください。（必須）

例）〇〇株式会社〇〇事業所

Q2 業種を選択してください。（1つ選択）

※日本標準産業分類の区分を表記しています。

- 農業 林業 漁業
- 鉱業、採石業、砂利採取業、 建設業 食品製造業
- 飲料・たばこ・飼料製造業 繊維工業 木材・木製品製造業（家具を除く）
- 家具・装備品製造業 パルプ・紙・紙加工品製造業、 印刷・同関連業
- 化学工業 石油製品・石炭製品製造業 プラスチック製品製造業（別掲を除く）
- ゴム製品製造業 なめし革・同製品・毛皮製造業 窯業・土石製品製造業
- 鉄鋼業 非鉄金属製造業 金属製品製造業
- はん用機械器具製造業 生産用機械器具製造業 業務用機械器具製造業
- 電子部品・デバイス・電子回路製造業 電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業
- 輸送用機械器具製造業 その他の製造業 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業 運輸業、郵便業 卸売業、小売業
- 金融業、保険業 不動産業、物品賃貸業 学術研究、専門・技術サービス業
- 宿泊業、飲食サービス業 生活関連サービス業、娯楽業 教育、学習支援業
- 医療、福祉 複合サービス事業 サービス業（他に分類されないもの）
- 公務（他に分類されるものを除く） 分類不能の産業

Q3 昨年度ご利用のセンターを選択してください。（1つ選択）

- 保健環境センター 食品工業技術センター 西部工業技術センター（生産技術アカデミー含まず）
- 西部工業技術センター生産技術アカデミー 東部工業技術センター 農業技術センター
- 畜産技術センター 水産海洋技術センター 林業技術センター

Q4 昨年度ご利用の支援メニューを入力してください。（1つ選択）

- 設備利用（センターの保有機器・設備）、 依頼試験、 ギカジ（技術的課題解決支援事業）、
- 共同研究、 受託研究、 研究員受入

Q5 ご利用のきっかけは何ですか。(複数選択可)

- 前回利用 インターネット上での検索 センターでの技術相談
自治体・支援機関の紹介 地域企業等からの口コミ・紹介 その他

Q6 ご利用の理由は何ですか。(複数選択可)

- 必要な設備・機器があるため 利用したい技術があるため 研究員の知見が必要なため、
センターが近くにあるため 信頼性が高いため その他

Q7 センターの支援メニューをご利用の結果、満足度はいかがですか。(1つ選択)

- 大いに満足 満足 普通(想定どおり)
不満 大いに不満

Q8 Q7で満足(不満足)とした理由をお教えてください。(2つ選択)

- 対応が丁寧(不十分) 対応が早かった(遅かった) 金額が安い(高い)
目的の知見が得られた(得られなかった) 目的以外の知見を得た(得られなかった)
手続きが簡単(煩雑) 結果が期待以上(期待未満)

Q9 今後のセンターのご利用に当たり、強化してほしい技術分野があればお教えてください。(自由記入)

例) ○○○技術

Q10 センターの保有する設備・機器で、更新や新設を希望するものがあればお教えてください。(自由記入)

例) 機器の名称や機能など

Q11 センターへ、その他ご意見があればお教えてください。(自由記入)

※対応してほしい点、改善してほしい点、よかった点など

Q12 回答者の所属、お名前を記入してください。

以上で個別アンケートは終了です。ありがとうございました。
共通アンケートへの回答がまだの場合は、
お手数ですが、とりまとめ担当課様へ引継ぎをお願いします。

共通アンケート

